

2025年3月期中間期 決算説明会

2024年11月13日(水)



本日の内容

- ① 2025年3月期中間期決算概況
- ② 2025年3月期の業績見通し
- ③ 経営戦略委員会の検証結果に基づき策定した
実行計画
～中期経営計画の加速・実効性の向上と企業価値の更なる
向上を目指して～

① 2025年3月期中間期決算概況

東邦HD 連結 P/L

- 「ガバナンス強化特別委員会」を設置
- 自己株式の取得 150億円(2025年3月末まで) および取得した株式は全て消却
- 株式会社ファルモ(調剤薬局向けDX支援)、ブルーイノベーション株式会社(ドローン・ロボットを活用したDXソリューションの開発・提供)との業務提携
- ひろさきLI株式会社(再生医療等製品の開発)、ワコン株式会社(医薬品等の定温容器等の物流機器の製造・販売)への出資

(単位:百万円)

	2024年3月期中間期		2025年3月期中間期		
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前期 増減率(%)
売上高	734,846		754,974		2.74
売上総利益	56,635	7.71	58,384	7.73	3.09
販売管理費	50,142	6.82	51,004	6.76	1.72
営業利益	6,492	0.88	7,380	0.98	13.68
経常利益	7,945	1.08	8,596	1.14	8.19
中間純利益※	8,782	1.20	5,383	0.71	△38.70

※親会社株主に帰属する中間純利益

東邦HD 連結 B/S

(単位: 百万円)

	2024年3月期		2025年3月期中間期			主な増減要因
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減額	
流動資産	597,888	77.30	588,234	76.32	△9,654	商品及び製品 現預金 8,358増加 24,743減少
固定資産	175,538	22.70	182,476	23.68	6,938	投資有価証券 5,305増加
資産合計	773,427	100.00	770,711	100.00	△2,716	
流動負債	471,305	60.94	462,815	60.05	△8,490	未払法人税等 3,299減少 未払消費税等 3,019減少
固定負債	52,684	6.81	45,251	5.87	△7,433	社債 8,944減少
負債合計	523,990	67.75	508,066	65.92	△15,923	
純資産	249,437	32.25	262,644	34.08	13,207	利益剰余金 4,317増加 その他有価証券評価差額金 2,644増加 自己株式 4,884減少 (+)
負債純資産合計	773,427	100.00	770,711	100.00	△2,716	

自己資本比率 2024年3月期 32.22% 2025年3月期中間期 34.05%

医薬品卸売事業 P/L

- ・ スペシャルティ医薬品をはじめとする取扱卸を限定する製品の売上が引き続き堅調に伸長
：取扱卸限定製品の売上高 1,266億円（対前同28.1%増）※コロナ治療薬を除く
- ・ 顧客支援システムの売上総利益 19億円
- ・ 営業所・事業所の統廃合 拠点数 2減、営業所数 3減

（単位：百万円）

	2024年3月期中間期		2025年3月期中間期		
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前期 増減率(%)
売上高	709,414		728,733		2.72
売上総利益	38,955	5.49	40,357	5.54	3.60
販売管理費	32,143	4.53	32,351	4.44	0.65
営業利益	6,811	0.96	8,005	1.10	17.53

カテゴリー別売上構成比および妥結率

カテゴリー別売上構成比

	2023年4月 -2023年9月	2024年4月 -2024年9月
新薬創出加算対象品	35.3%	38.4%
特許品・その他	40.3%	40.5%
長期収載品	14.4%	10.6%
GE品	10.1%	10.4%

妥結率

	2020年 9月末	2021年 3月末	2021年 9月末	2022年 3月末	2022年 9月末	2023年 3月末	2023年 9月末	2024年 3月末	2024年 9月末
金額ベース	95.6%	100.0%	95.0%	100.0%	95.4%	98.6%	95.2%	99.5%	95.1 %
軒数ベース	80.6%	100.0%	71.1%	100.0%	69.6%	100.0%	69.3%	100.0%	62.2%

調剤薬局事業 P / L

- ・ 中期経営計画の重要施策である「調剤薬局事業の変革」を実践するため、2024年3月末時点で27社あった調剤薬局事業会社を、今年7月1日時点で17社に再編
- ・ 採算性に基づき7店舗を閉局または譲渡し、8店舗を開局
- ・ 事業会社の統合に伴い一時費用が発生

(単位:百万円)

	2024年3月期中間期		2025年3月期中間期		
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	対前期増減率(%)
売上高	46,598		47,111		1.10
売上総利益	15,871	34.06	16,163	34.31	1.84
販売管理費	14,976	32.14	16,181	34.35	8.05
営業利益	895	1.92	△18	△0.04	—

■調剤薬局店舗数 (2024年9月30日時点)

	連結子会社		非連結子会社		関連会社		合計	
東邦HD傘下	0社	0店舗	2社	6店舗	2社	18店舗	4社	24店舗
ファーマクラスター傘下	8社	578店舗	7社	68店舗	1社	37店舗	16社	683店舗
合計	8社	578店舗	9社	74店舗	3社	55店舗	20社	707店舗

② 2025年3月期の業績見通し

東邦HD 連結 2025年3月期の業績見通し

(単位:百万円)

	2024年3月期		2025年3月期計画			
	実績	売上比 (%)	計画		前期比	
			金額	売上比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	1,476,712		1,492,000		15,288	1.04
売上総利益	119,148	8.07	120,200	8.06	1,052	0.88
販売管理費	99,817	6.76	102,000	6.84	2,183	2.19
営業利益	19,331	1.31	18,200	1.22	△1,131	△5.85
経常利益	21,787	1.48	20,100	1.35	△1,687	△7.74
当期純利益※	20,657	1.40	12,500	0.84	△8,157	△39.49

2025年3月期中間期	
実績	通期計画に 対する進捗率 (%)
754,974	50.60
58,384	48.57
51,004	50.00
7,380	40.55
8,596	42.77
5,383	43.06

※親会社株主に帰属する当期純利益

医薬品卸売事業 2025年3月期の業績見通し

(単位:百万円)

	2024年3月期		2025年3月期計画			
	実績	売上比 (%)	計画		前期比	
			金額	売上比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	1,424,488		1,437,000		12,512	0.88
売上総利益	83,537	5.86	82,400	5.73	△1,137	△1.36
販売管理費	64,083	4.50	65,300	4.54	1,217	1.90
営業利益	19,453	1.37	17,100	1.19	△2,353	△12.10

2025年3月期中間期	
実績	通期計画に 対する進捗率 (%)
728,733	50.71
40,357	48.98
32,351	49.54
8,005	46.81

調剤薬局事業 2025年3月期の業績見通し

(単位:百万円)

	2024年3月期		2025年3月期計画			
	実績	売上比 (%)	計画		前期比	
			金額	売上比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	93,789		96,700		2,911	3.10
売上総利益	31,894	34.01	34,200	35.37	2,306	7.23
販売管理費	30,348	32.36	31,700	32.78	1,352	4.45
営業利益	1,546	1.65	2,500	2.59	954	61.71

2025年3月期中間期	
実績	通期計画に 対する進捗率 (%)
47,111	48.72
16,163	47.26
16,181	51.04
△18	—

配当について

	中間	期末	年間
2023年3月期	16円	16円	32円
2024年3月期	18円 (普通配当 16円 記念配当 2円)	22円 (普通配当 20円 記念配当 2円)	40円 (普通配当 36円 記念配当 4円)
2025年3月期 (予想)	25円	40円	65円

「D O E 2 %を見据え安定的に向上」との配当方針に沿って、期末配当予想を、前回公表の1株当たり25円から15 円増配し、40円に修正しました。
 これにより、年間配当金は前年度より25円増配の65円となる予定です。

3 経営戦略委員会の検証結果に基づき策定した実行計画

～中期経営計画の加速・実効性の向上と
企業価値の更なる向上を目指して～



委員会メンバー

社内取締役：枝廣CEO兼CFO、馬田COO、
有働取締役、松谷取締役
社外取締役：加茂谷監査等委員、小谷監査等委員
社外有識者：村山昇作氏（元日本銀行調査統計局長
審議役）
松井幸郎氏（元アステラス製薬株
専務担当役員CCO）
※ 4月以降、委員会を計7回開催

コミットメント/パッション
(数値目標、ロードマップ)

全ては健康を願う人々のために

「次代を創る」の具体的・
詳細な戦略、実行計画

あるべき姿：

「あらたな価値創造」に貢献する「ベストパートナー」

- ・ 医薬品の安定供給を通じた医療提供体制維持への貢献
- ・ スペシャリティ製品の取扱いを通じた、医薬品流通における確固たるポジションの確立
- ・ 地域ヘルスケアデザインに必要とされる「仕組み」のイノベーション
- ・ 様々なチャレンジに積極的に取り組む企業文化の確立
- ・ 継続的な企業価値の向上

外部環境の変化



中長期的な
少子高齢化



モダリティの
多様化



地域包括ケア
システムの進展



物流に関する
環境変化



世界的なインフレ
傾向の継続

中計の取り組みを加速させ、実効性を
高めるための具体的な戦略、実行計画

中期経営計画
2023-2025
「次代を創る」

策定にあたっての重要な観点

- ・ 資本効率の改善
- ・ ガバナンスの強化
- ・ 人事戦略、人事制度の改革

以下につき方針を策定

- ・ 各事業の収益性・生産性向上
- ・ 成長投資
- ・ 事業ポートフォリオ
- ・ 政策保有株式や事業に供する資産の保有の在り方
- ・ キャピタル・アロケーション

期間

2025年度

2028年度

29年3月期に以下の目標を上回ることを
目指す（連結ベース）

ROE **8%以上**

（今後継続的に株主資本コスト※以上の水準を確保）

※2024年9月末時点 概ね6%

営業利益率 **1.5%以上**

DOEと政策保有株式比率については
以下のとおり

DOE **2%以上**

（2026年3月期までに）

政策保有株式 純資産対比

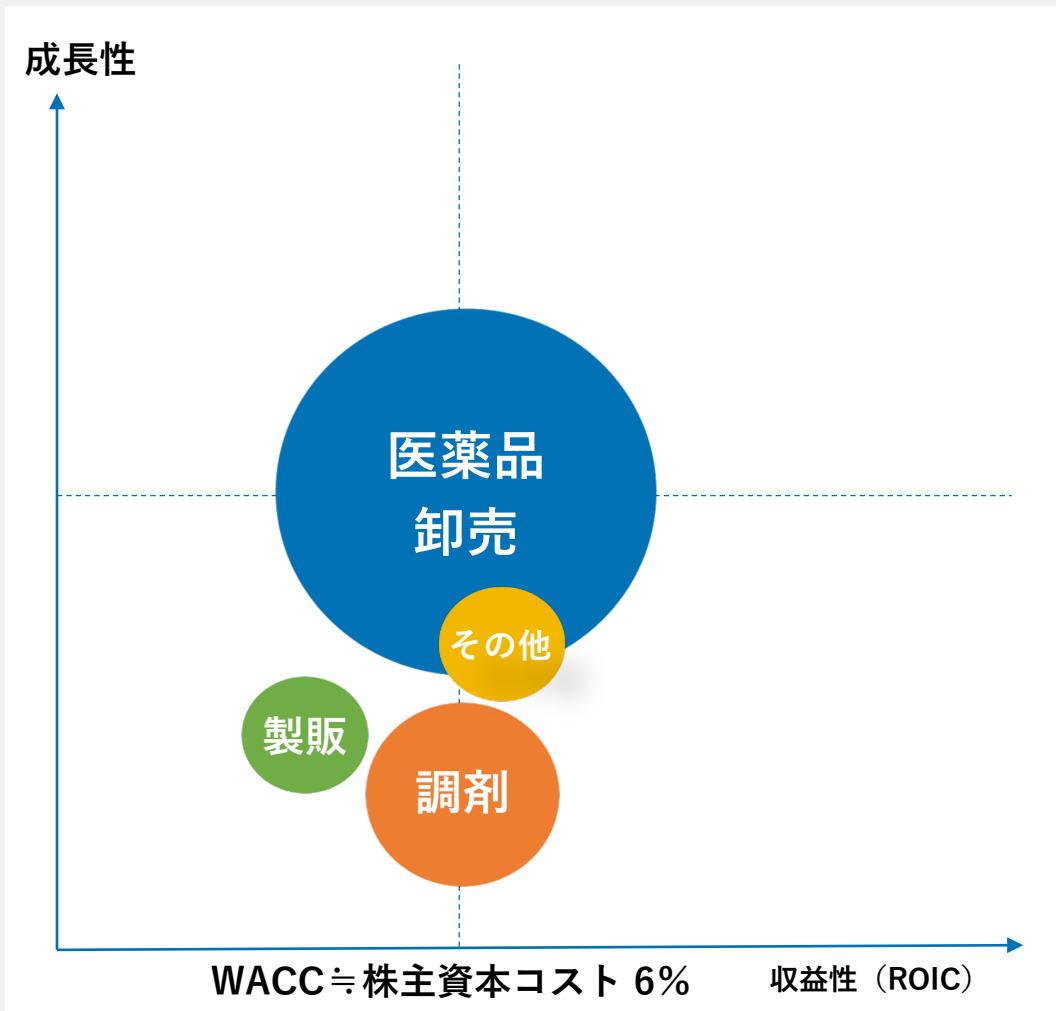
15%未満（2026年3月期末）

10%未満（2029年3月期末）

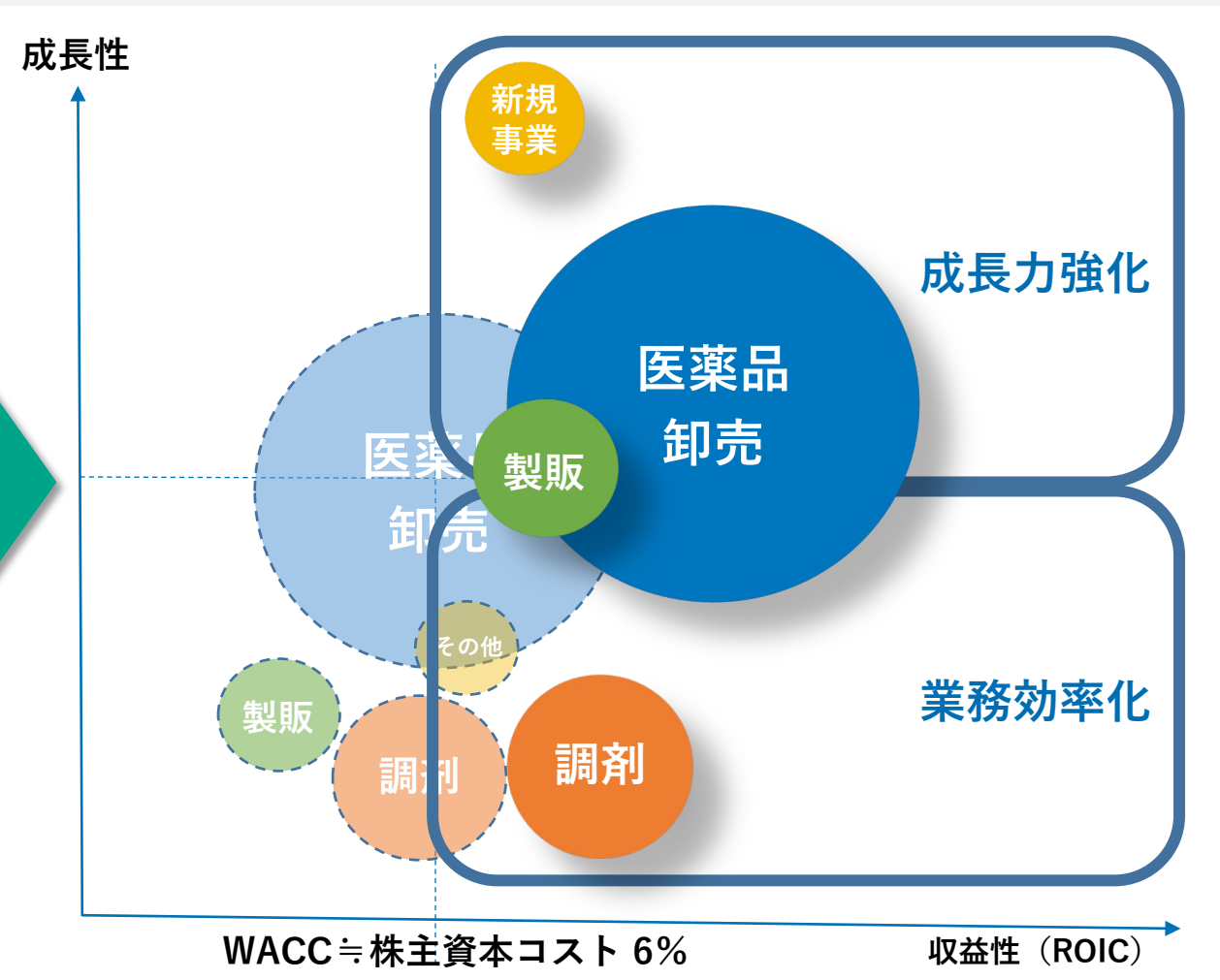
上記を達成するよう、利益の改善及び積極的な株主還元を進める

ROE8%実現を目指し「医薬品卸売事業」と「新規事業」に経営資源を傾斜配分

現状の事業ポートフォリオ（ROICは過去3期平均）



目標とする事業ポートフォリオ（2029年3月期）



円の大きさは事業（営業利益）規模をイメージ

| 医薬品卸売事業

- ・ スペシャリティ製品の取扱いで競争優位を確保できる機能（物流機能、フルラインサービス）の拡充
- ・ 営業、配送体制の質的向上・強化（チーム制の導入等）を通しての生産性の向上
- ・ 顧客支援システムの収益性向上、付加価値提供型ビジネスモデルの進化・強化

| 調剤薬局事業

- ・ 現在取り組んでいる子会社の統合を最優先課題として取り組むとともに、業務効率化による収益力を強化
- ・ 薬局共創未来などの当社独自のネットワークも活かした新たなビジネス機会としての地域包括ケアシステムへの参画を通して成長基盤を拡充

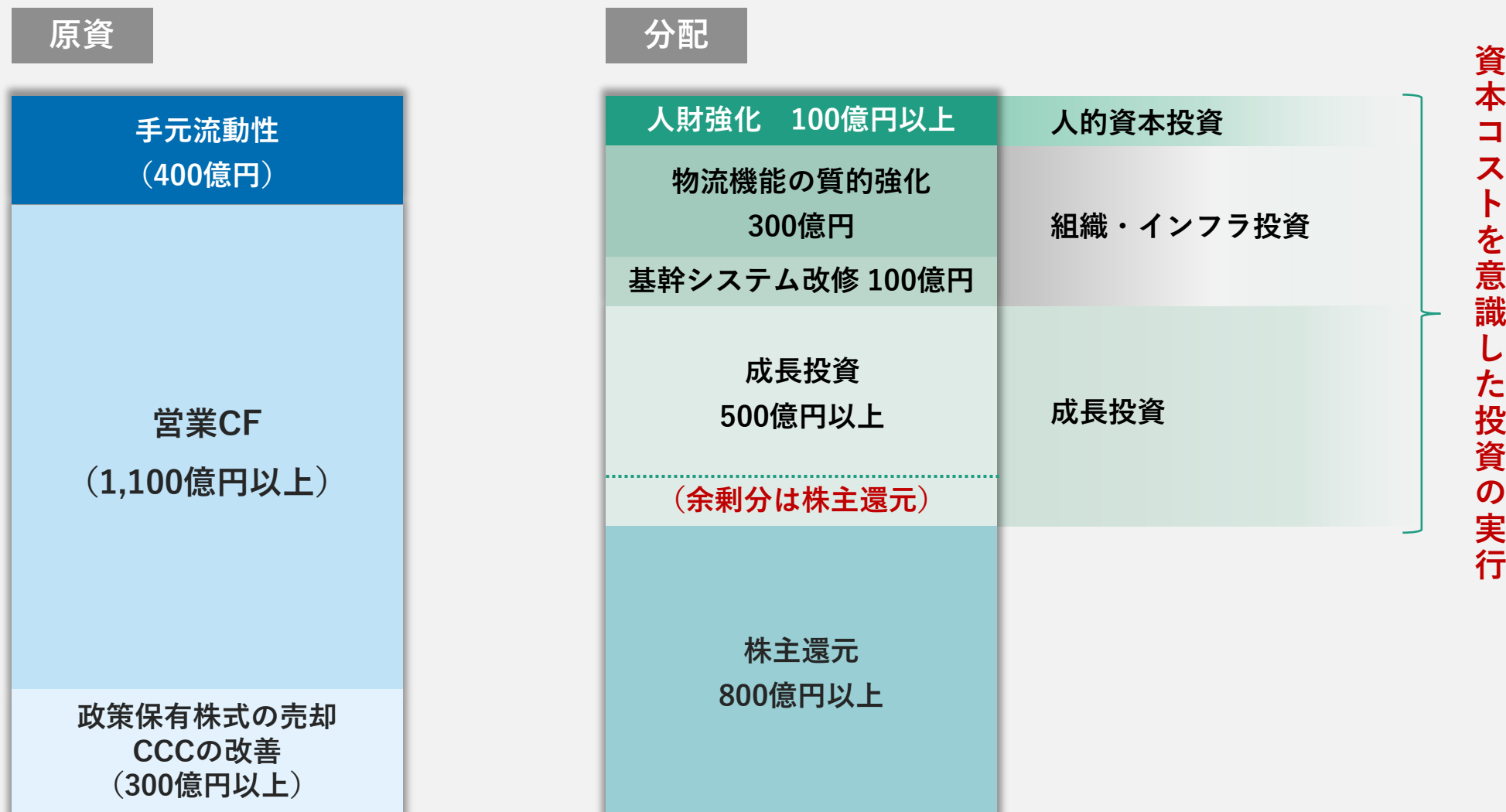
| 製造販売事業

- ・ ジェネリック医薬品の安定供給の確実な推進
- ・ CDMO（製造開発受託）事業については、スペシャリティ製品のフルラインサービスの拡充を通じた医薬品卸売事業の強化とともに、単独でも収益性の高い新たなビジネスの構築につながる可能性もあり、その拡大の可能性を追求

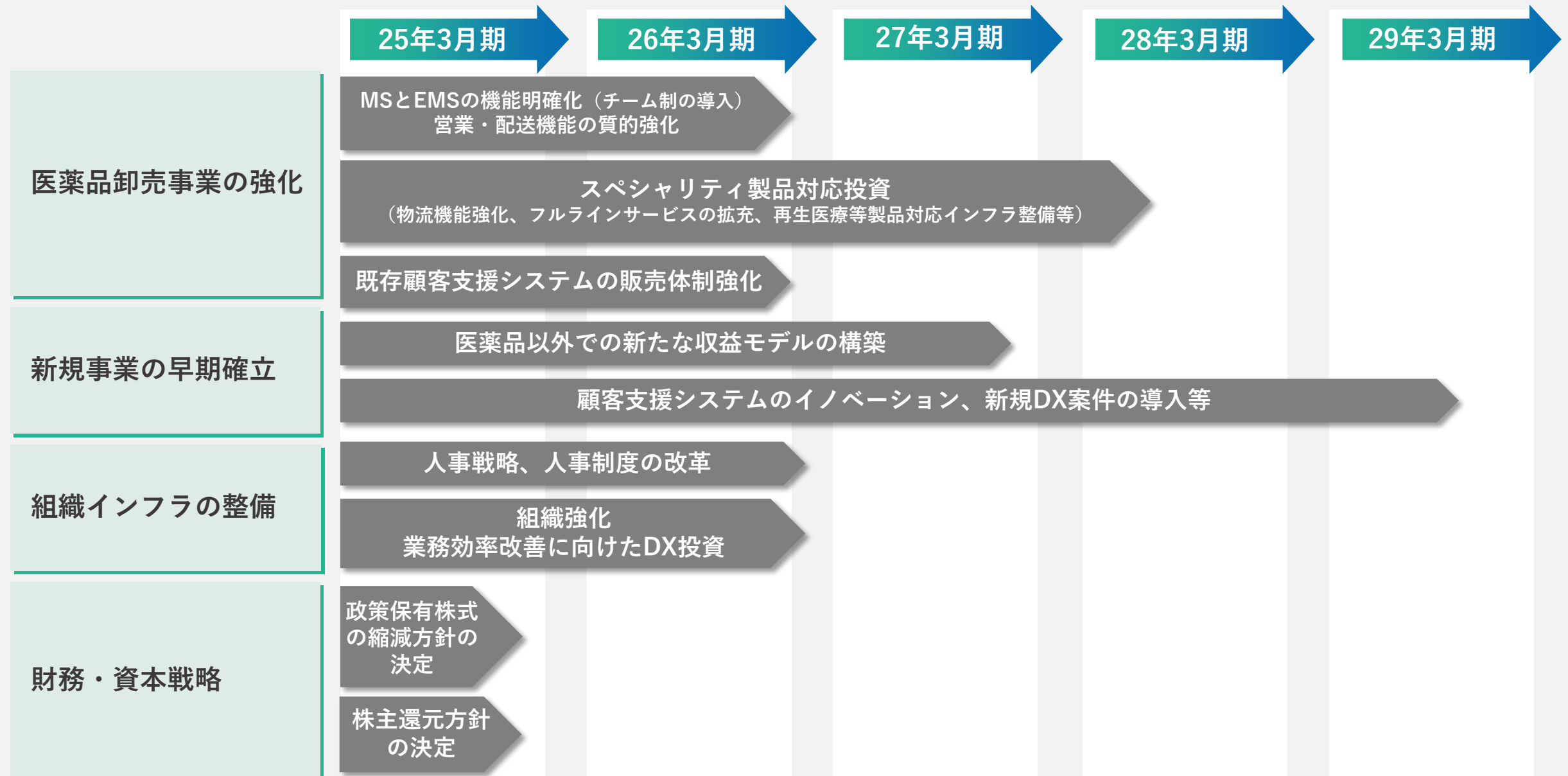
| 新規事業

- ・ 既存の顧客支援システム及びホールディングス傘下のシステム関連子会社機能の整理統合と外部とのアライアンスによって実現するイノベーションを通して、患者様、医療機関、薬局、自治体や製薬会社それぞれの「あらたな価値創造」に貢献できるサービス、システムの開発を推進
- ・ 医療用医薬品以外での新たなビジネスを構築

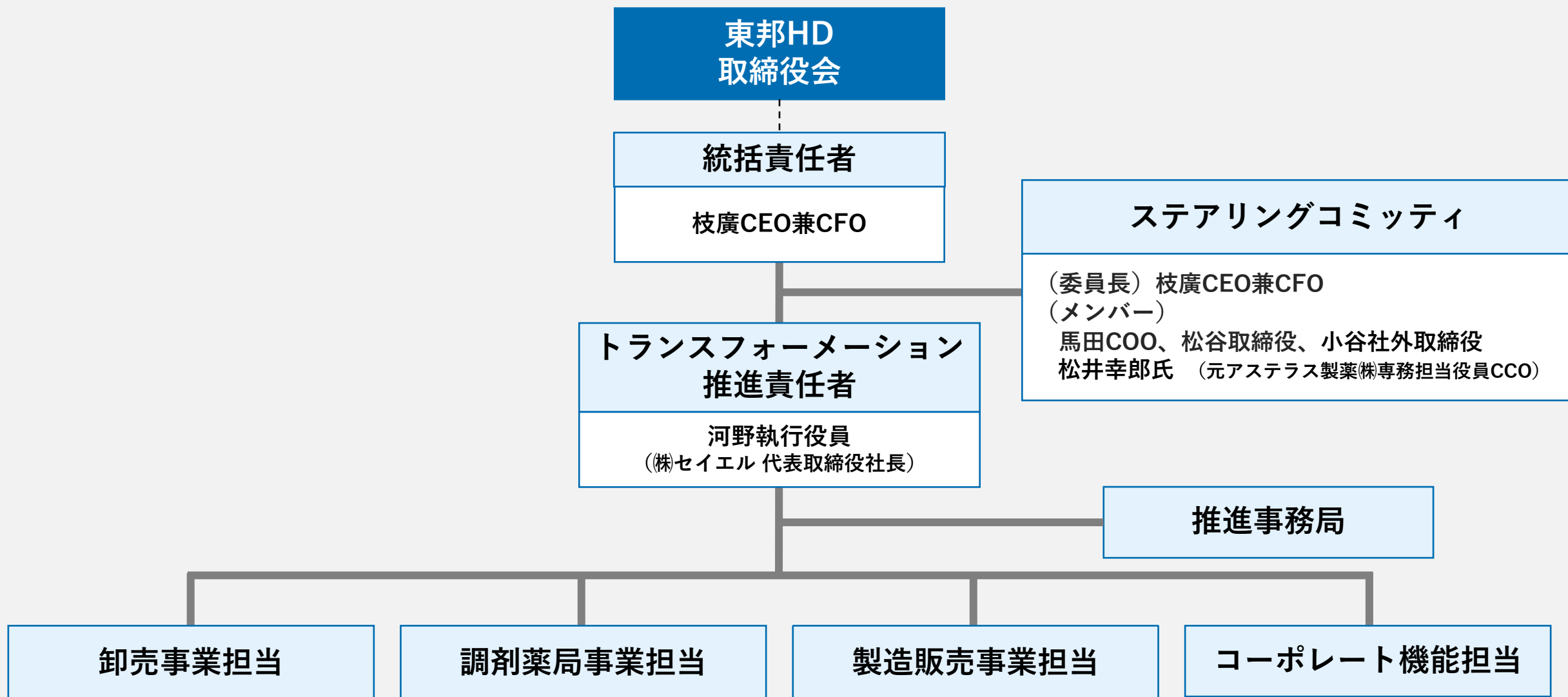
資本コストを意識した事業投資を最優先にしながら、適正な株主還元を実施



戦略実現に向けてのロードマップ



■ 実行計画（トランスフォーメーション）推進体制



参考資料

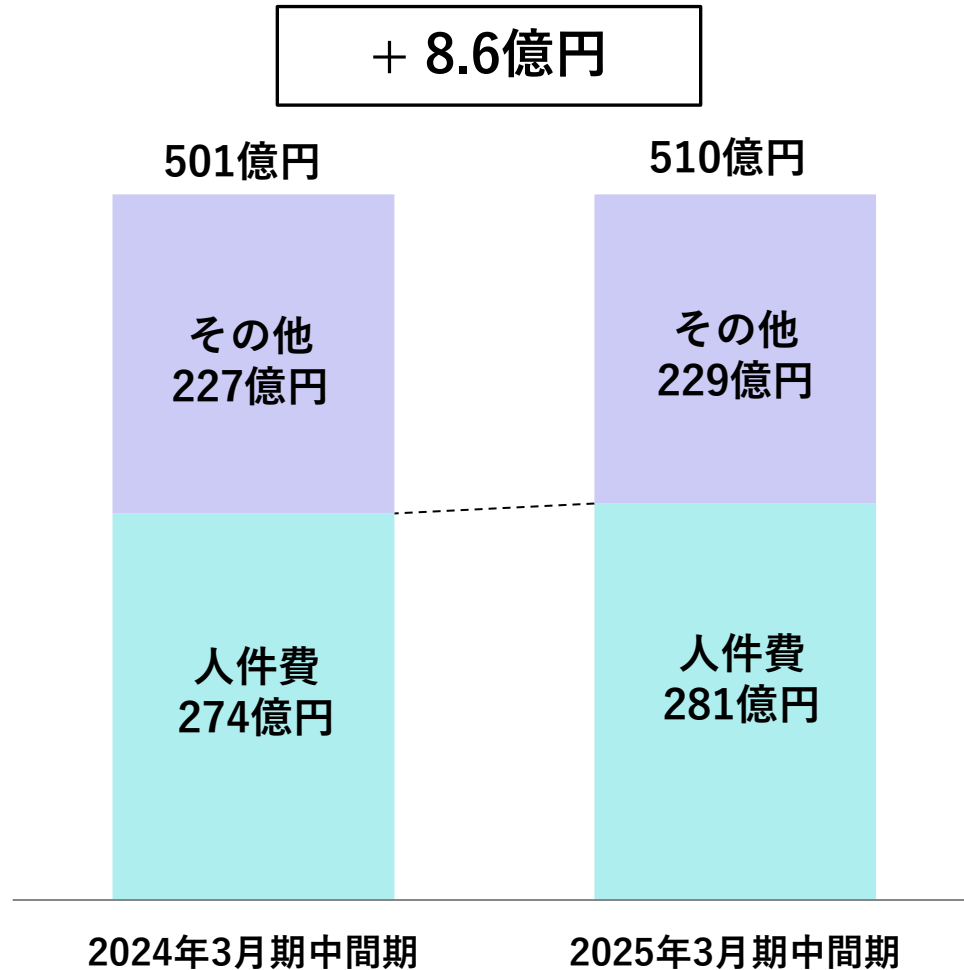
キャッシュフロー

(単位: 百万円)

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2025年3月期中間期の主な増減要因
現金（同等物）の 期首残高	81,839	128,673	
営業活動	53,933	△10,744	税引前利益 8,541 減価償却費 2,817 売上債権の増加 △2,853 棚卸資産の増加 △8,167 未払消費税等の減少 △3,019 法人税等の支払額 △6,739
投資活動	3,515	△4,590	有形固定資産の取得 △2,241 投資有価証券の取得 △1,155 関係会社株式の取得 △934
財務活動	△5,775	△10,187	短期借入金の減少 △881 自己株取得のための 預託金増加 △4,795 自己株式の取得 △2,707 配当金の支払額 △1,381
現金（同等物）の 期末残高	133,516	103,925	当期増減額 △24,747

販売管理費の前年比分析

【前年同期比】



その他 +0.8億円

医薬品卸 △5.2億円
 不動産賃借料 △3.5億円
 減価償却費 △2.7億円
 研究開発費 △1.3億円
 支払手数料 +2.8億円

調剤薬局 +6.0億円
 支払手数料 +2.1億円

人件費 +7.8億円

医薬品卸 +1.7億円
 調剤薬局 +6.0億円

設備投資と減価償却費

【設備投資】

2024年3月期中間期	2025年3月期中間期	2025年3月期
実績：1,647百万円	実績：3,068百万円	年間計画：8,225百万円
① 医薬品卸営業所 新築移転等 589百万円 ② 基幹システムサーバ入替 459百万円 ③ その他 599百万円 うち、 システム開発等 190百万円 IP電話の入替等 156百万円	① 医薬品卸営業所 新築移転等 790百万円 ② 物流センター設備更新 614百万円 ③ その他 1,664百万円	① 医薬品卸営業所 新築移転等 3,006百万円 ② 物流センター設備更新 2,131百万円 ③ その他 3,088百万円

【減価償却費】

2024年3月期中間期	2025年3月期中間期	2025年3月期計画
2,934百万円	2,632百万円	5,787百万円



全ては健康を願う人々のために



【IR担当窓口】経営戦略本部
E-mail: info@so.tohoyk.co.jp
<https://www.tohohd.co.jp>

【注記】

本資料に掲載されている東邦ホールディングス株式会社の現在の計画、見通し、戦略、想定等のうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から東邦ホールディングス株式会社の経営陣の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。また、資料に含まれる医薬品に関する情報は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。